

# 基本理念

# 人と人、人と地域がつながり 自分らしく安心して暮らすことができるまち

## 第5期 守山市地域福祉計画を策定(令和8~12年度)

健康福祉政策課 ☎(582)1123 ☎(581)1138



第5期計画について

ピックアップ

ピックアップ

地域福祉とは、一人ひとりの小さな社会参画や支え合いの心と行動が集まって、はかれていくものです。「好き」や「自分のしたいこと」から活動が始まり、いつの間にか地域福祉の実践者になっていたという高田 満彦さんと富田 真樹さんのお話を伺いました。



エイブラハム林間学校の高田 満彦さん(左)と、bochibochi slothの富田 真樹さん



子ども農園で野菜づくり(エイブラハム林間学校)



小麦粉粘土で遊ぶ親子(bochibochi sloth)

空いた畑を  
利用できないかな

近所の子どもと  
野菜を育てよう

高齢者は農園の  
先生だね

### Q: 活動内容を教えてください

**富田さん** 五感と全身を使って表現する、家ではできない遊びがしたいと近所の親子さんと始めた活動が広がり、市民交流センターで単発のイベントをするようになりました。

**高田さん** 地域の子どもと、昔ながらの遊びやラジオ体操ボランティアなどをしていました。自宅隣の畑がちょうど空いていたので、地域の人と一緒に「地域農園」を始めました。

### Q: 地域福祉という概念について

**高田さん** 好きでやっている活動ですが、「人と人の絆」、地域のコミュニティを築きたいという考えはありました。地域農園では地域の高齢者が野菜づくりを教えてください。成長した学生OBが手伝いに来てくれたりして、子どもの成長と醸成された「絆」を感じることがあります。楽しかった思い出をつないでいくことが福祉につながっているのでしょうか。

**富田さん** 私のイベントでは、子どもが遊んでいる場面を必ず一つ持ち帰ってもらいます。絵の具でペタペタした手形や落書きは、親子にとっての大切な思い出と成長の記録だからです。それが家族や地域とのつながりを強くしてくれる「福祉」になるのかもしれない。

### Q: これからの抱負はありますか

**高田さん** 伝統行事を通じた絆づくりに取り組みたいと思っています。

**富田さん** 今は子育て支援ですが、五感に刺激を与える表現遊びは、年齢に関係なく心と体を整えてくれるので、優しく楽しい居場所にしていきたいと思っています。

環境や食育に  
関心を持つかな

表現遊びは  
楽しいよね

落書きも  
成長の記録だね

子どもの笑顔が  
うれしいな

感性やセンスが  
育つかも

## 計画の位置づけ

「守山市長期ビジョン2035」という大きな計画を達成するために策定された計画で、地域福祉の各分野に共通して取り組むべきことや地域福祉への市民の参加を促すことを定めるものです。福祉全体の方向性を示すとともに、地域福祉の各個別計画との連携・整合を図り、福祉全体の一体的な推進を目指すものです。

## 地域福祉における市の課題

### ①人と人、人と地域のつながりが希薄化

地域のつながりは個人の社会的孤立を防ぐだけでなく、地域全体の防犯や防災力の強化などにもつながります。地域活動を活性化しながら、地域における支え合いの再構築を進めることが重要です。

### ②地域の担い手不足と高齢化、暮らしの変化

60歳以上の就労、共働きが一般化しているなど、これまでと同じ地域活動が難しくなっていることから、暮らしの変化に合わせた活動内容や参加方法の見直し、新しい活動の創出が求められています。

### ③複合的な課題、制度のはざまにある問題の顕在化と増加

高齢化などにより支援を必要としている人が増加するだけでなく、制度のはざままで支援が届きにくいなど、課題は複雑化・複合化しています。包括的な支援体制や社会の変化に合わせたサービスや制度が必要です。

※さらに今後予想される変化として【人口減少社会の到来】【人口構造の変化】【社会の変化に合わせた基盤整備が必要】などが考えられます。

## 計画の基本方針

人や地域のつながりが希薄化しがちな現代社会で、改めて人と人の顔が見える関係や、地域社会との多様なつながりを築くことで、個性や価値観が尊重され、地域で安心して暮らすことができるまちを創っていききたいという想いを込めて、基本理念のもと、行政、市民、地域団体、企業など、多様な主体が協力しながら、地域福祉を推進していきます。



## 地域共生社会シンポジウム～守山にみいちゃんのお菓子工房がやってくる～

一人ひとりの願いや願い、得意なことを大切にしながら、地域での新しい参加や活動、仕事の可能性と一緒に考えるシンポジウムです。今ある選択肢だけでなく、地域でつながり新しくつくる発想についても学びます。ぜひ参加してください。

時8月23日(日)13時30分～  
所市役所 多目的ホール

### 登壇者

「みいちゃんのお菓子工房」  
杉之原 みずきさん(みいちゃん)、  
杉之原 千里さん(みいちゃんママ) ほか  
他申込など詳しくは、市庁をご覧ください(6月16日(火)アップ予定)。



シンポジウムについて



みいちゃんママ

幼少期に自閉症スペクトラム(場面緘黙症)と診断されたみいちゃんは、周囲に支えられながら小学6年生からケーキ屋さんの店長 兼 パティシエとして活躍。みいちゃんママとともに歩みを語ります。



みいちゃん